

第1912回埼玉県教育委員会定例会

- 1 日 時 令和3年8月11日（水） 午前10時開会
午前11時33分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 高田教育長、伊倉教育長職務代理者、遠藤委員、石川委員、戸所委員、坂東委員、佐藤教育総務部長、日吉県立学校部長、石井市町村支援部長、渡辺義務教育指導課長、竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長、関根財務課長、加藤教育政策課長
栗原書記長、岩崎書記、原口書記
- 4 会議の主宰者 高田教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 高田教育長が、遠藤委員を議事録の署名者に指名した。
- (2) 協議事項
- ア 令和4年度埼玉県立伊奈学園中学校において使用する社会（歴史的分野）教科用図書について
- 渡辺義務教育指導課長（提案理由、現在使用している教科用図書、教科用図書選定審議会の答申、教科用図書の調査研究結果等について説明）
- 高田教育長 県立伊奈学園中学校の教科用図書に関する協議であり、教育委員皆様自身が教科用図書の発行者との関わりがあれば、御発言をお願いします。
- （発言なし）
- 高田教育長 特にないようですので、このまま先に進めます。この件について、協議いたします。協議の進め方ですが、事務局の説明に対する質疑を行った後、

各委員から、教科用図書の調査研究をした上での御意見・御感想を伺います。その後、学校訪問の際の学校の様子や、校長との意見交換を行っての御意見・御感想を伺います。最後に、県立伊奈学園中学校の歴史的分野の社会の教科用図書についての協議をまとめるに当たっての総括的な質疑・意見交換を行うという流れで、進めてまいります。それでは、まず、事務局の説明に対する質疑を行います。御質問はありますか。

石川委員 伊奈学園中学校では、三つの観点で調査研究を行ったということですが、学校の中ではどのような手順で調査研究が行われたのか、また、調査研究の具体的な手法についても教えてください。

渡辺義務教育指導課長 伊奈学園中学校の調査研究ですが、教科担当を中心に調査研究を行った上で、管理職が学校として取りまとめを行いました。具体的には、教科書の見本本について、編修趣意書や内容解説資料を参考に調査し、その上で生徒の実態や学校の教育目標等を踏まえて、学校独自にまとめたものです。

伊倉教育長職務代理者 23ページに伊奈学園中学校が現在使用している育鵬社の教科用図書の評価資料がありますが、評価についてもう少し具体的に、かつ重要な点についても教えてください。

渡辺義務教育指導課長 評価資料の23ページの内容に加えまして、学校からは例えば、育鵬社の教科書には近世、近代、現代などの長い時間軸に起きた一連の出来事を記載している「鳥の目で見ると 歴史絵巻」といったコーナーがあり、このようなコーナーを活用して、歴史上の出来事を単に覚えるといった形ではなく、出来事の背景や、相互の関係などを深く学び、整理して他の生徒に発表することで、多面的・多角的な思考力や豊かな表現力を育成できていると伺っています。

高田教育長 ほかに御質問はありますか。

(発言なし)

高田教育長 それでは、次に移りたいと思います。委員の皆様には多くの時間を割いて教科用図書の調査研究に取り組んでいただきましたが、教科用図書の調

査研究に取り組んでの御意見・御感想をお願いします。

遠藤委員 全般的に見て一つの傾向があると思います。学習指導要領が変わったことで学習指導要領が強調している点に焦点を当てていると感じました。例えば、「主体的・対話的で深い学び」という力を育てるためには、どうしたらいいのか。そのためには、アクティブ・ラーニングなどの教育手法で新しい学びを取り入れていると思います。そのため、どの教科書も昔と比べて、絵や資料が多くなっていると感じました。また、本文は、非常にじっくり読めて考えられる内容だと思います。社会は覚えるだけではなく考えることが大事で、思考力についても社会でも育てていこう、そういった傾向があるように思いました。

伊倉教育長職務代理者 今回私は、特に新しく発行された自由社の教科書を詳しく読みました。自由社の教科書は見開きページで一つの授業が完結するようなスタイルになっています。また、復習問題のページ、調べ学習のページがありますが、例えばページの一番下に「チャレンジ」という項目があり、授業で学んだこと、史実の確認を最後に振り返ることができるようになっています。教科書を見るだけでも史実の確認や理解ができるような仕掛けになっていると感じました。

石川委員 私も自由社の教科用図書を読み、去年は他社の教科用図書も読みましたが、改めて育鵬社の教科用図書を確認したところ、特に各章の「学習のまとめ」や巻末の「歴史学習のまとめ」といったように、学習の振り返りをよくできるように作られていると感じました。それぞれの単元で、どういうことを学んだのかを自分自身で理解でき、そういった面では良くできている教科用図書であると改めて感じました。

戸所委員 現在、使用している育鵬社の教科書には「歴史のターニングポイント」というものがあり、そこでは、生徒に「もし、その時、私が当事者だったら」という問い掛けがあります。疑似的ではありますが、生徒は、自分のこととして歴史と向き合うことができるので、興味や関心、あるいは探求心を更に高められるのではないかと考えています。

高田教育長 ほかに御意見等がありますか。

(発言なし)

高田教育長 それでは次に移ります。これまでも各教育委員の皆様には毎年伊奈学園中学校を訪問し、先月7月にも私も一緒に訪問し、伊奈学園中学校の授業を視察しました。さらに、学校現場の状況を見て校長とも意見交換を行いました。つきましては、訪問や校長との意見交換を行った上でのお気付きの点や御意見・御感想がありましたらお願いします。

遠藤委員 教科用図書や学校の性質によることかもしれませんが、例えば歴史の授業では、出来事だけを教えるのではなく、なぜこうなったのか、どうしてそういった思いに至ったのか、そういったところまで教えている、活発な実践的な学びを行っていると感じました。そういった方向に向ける先生たちの意図もありますが、授業を受ける生徒も先生たちの意図をきちんと受け取っている生徒たちも増えたと感じました。

伊倉教育長職務代理者 今回、伊奈学園中学校を訪問するのは3回目ですが、学校訪問することが楽しみな学校です。伊奈学園中学校の雰囲気は活発さを感じます。特に授業を拝見するとそれをよく感じ、先生の熱意と生徒たちの非常に熱心な姿勢のバランスが良く、生徒たちの知りたいことが増えていき、生徒たちの主体性を持つことを促すような環境の中学校であるといつも感じます。校長先生と話をしても、先生たちが非常にそれを意識して、生徒たち自身が自ら考えられるように、何かを得られるように、教えるというよりも下から支えていく雰囲気があります。今後も唯一の県立中学校として楽しみな中学校であると感じています。

戸所委員 私は、今回初めて伊奈学園中学校の授業を見させていただきましたが、一方通行ではなく、先生と生徒との双方向性が素晴らしいと感じました。さらにグループで学ぶということを積極的に行っており、グループの間で意見交換する、自ら考えて自ら学ぶような仕組みがしっかりできていると感じ、大変素晴らしい授業だと思いました。私がかつて受けた教育の授業と大分教育の質も方法も変わったなと感じました。

石川委員 私も今回3回目の訪問をさせていただきましたが、授業を見て感じた

ところは、試験の後のテストが返却されたときに点数だけを確認するだけではなく、どこが間違っていたのか、もう一度確認しており、生徒の向学心、勉強に対する姿勢が素晴らしいと感じました。二クラス80人規模ですが、規模に合ったしっかりとした学習の機会が与えられているなど毎回訪問する度に感じ、今回も感じました。

坂東委員 私は今回初めて訪問させていただきましたが、環境としては、同じ生徒間で毎年学ぶことにより連帯感が生まれ、非常に特色があると思いました。授業は双方向性で生徒に質問を投げ掛けるなど生徒が飽きないような工夫がされていることが分かりました。今後もより良い人間力を育成させて、学校として発展していただければと思いました。

高田教育長 ほかに御意見等がありますか。

(発言なし)

高田教育長 それでは、来年度使用する社会の教科用図書についての協議をまとめていきたいと思いますが、まとめるに当たって、何か御意見はありますか。

石川委員 先生方の授業内容について確認をしましたが、伊奈学園中学校の生徒から学習意欲や理解力の高いことを毎回感じています。そして、学習意欲と理解力の高い伊奈学園中学校の生徒の特徴や特質を捉えながら、生徒自身が主体的に学ぶ授業が行われていると感じました。現在使われている育鵬社の教科書は、本文の中では、他の教科書と比べ、歴史上の人物を多く取り上げていたりする特徴があると感じます。特に「なでしこ日本史」では、歴史上有名な女性を取り上げることで、女性の活躍推進や男女共同参画といった現代社会の身近なテーマについて、深く学ぼうとする伊奈学園中学校の生徒に対して適していると感じました。私は、昨年度教育委員会において採択した、現在の育鵬社の教科書を引き続き使用することでよいと考えました。

遠藤委員 伊奈学園中学校の生徒は、家庭学習でも、教科書をよく読み込んでいるとの印象を受けました。授業では、多角的な学習の展開をもたらし、一辺倒ではなく多角的に考えられている授業が行われていると感じました。現在使われている育鵬社の教科書は、埼玉県の歴史的事象が多く取り上げられています。

生徒が、埼玉県の歴史について、改めて調べてみたり、新聞にまとめたり、発表したりするなど、学習に取り組むことができるよう工夫がされているように思います。育鵬社の教科書は、探求心が強く、自ら学ぼうとする伊奈学園中学校の生徒に合っていると感じました。私は、育鵬社の教科書をそのまま使用することが生徒にとってよいと思います。

戸所委員 教科用図書は、家庭学習でもよく使うということで、保護者も手に取って見るがあると思いますが、保護者の御意見や御感想は把握していますか。

渡辺義務教育指導課長 校長が、保護者に、実際に教科用図書を見てもらい、意見や感想を聞きとったと聞いております。現在使用している教科用図書について小テーマで内容をまとめたり、コラムを挿入したりするなど、生徒に興味を持たせる工夫がされているので取り組みやすい教科用図書であるとの感想を保護者からいただいたと聞いております。

伊倉教育長職務代理者 一保護者からとして見ると育鵬社の教科書は面白かったです。伊奈学園中学校は、中高一貫校の特徴を生かしながら、高校の指導や内容を取り入れたり、民間企業と連携した特別授業を学期ごとに実施するなどして、高いレベルでの学力を確実に育ててきたのだと感じました。学校の目指す生徒像である「生徒の『生きる力』」を育む学校として、埼玉県、日本を今後リードする人材を社会に輩出する視点を持っている学校だと思いますので、現在使用している育鵬社の教科書は合っているのではないかと感じました。まとめ方の部分で、他の教科書と大きく違っていた点は、自分がインタビュアーとなって、自分が歴史上の人物に質問したいことを考え、自分が更に歴史上の人物になりきって自分が考えた質問に答えていく、世情や環境を理解した上で自分の言葉で考えていく、そういった授業を伊奈学園中学校では、育鵬社の教科書を使用して行ってきたのだと感じました。そういった点に関しても現在使用している育鵬社の教科書を継続して使用することが適していると感じました。

高田教育長 その他いかがでしょうか。

高田教育長 県立伊奈学園中学校の教科用図書については、昨年度、教育委員会で採択し、法令上4年間同一教科用図書を使用することとされています。この

度、自由社の「新しい歴史教科書」が新たに発行され、現在使用している育鵬社の教科用図書から他の教科用図書に変更することも法令上可能となりました。各委員の御意見を伺うと、育鵬社の教科用図書を引き続き使用することが、県立伊奈学園中学校の生徒によいのではないかとの御発言がありました。この協議を通じて、現在使用している育鵬社の教科用図書を令和6年度まで続けて使用することとしてよろしいでしょうか。

○ 全出席委員同意

高田教育長 同意いただきましたので、この協議をもって、昨年度に教育委員会が採択し、現在使用している育鵬社の歴史の教科用図書を継続して使用することといたします。それでは、協議事項アは、ここまでとします。

○ 協議の結果、昨年度採択した育鵬社の社会（歴史的分野）の教科用図書を継続して使用することになった。

イ 令和4年度埼玉県立特別支援学校において使用する教科用図書の採択について
竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 （提案理由、高等学校に準ずる教育課程で使用する高等学校用文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書、学校教育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等、中学校に準ずる教育課程で使用する中学校用文部科学省検定済教科書社会（歴史的分野）について説明）

高田教育長 この協議については、特別支援学校の教科用図書採択に関する協議でありますので、教育委員皆様自身が教科用図書の発行者との関わりがあれば、御発言をお願いします。

（発言なし）

高田教育長 特にないようですので、この件について、協議いたします。協議の進め方ですが、まず先ほどの事務局の説明に関する質疑を行います。次に学校訪問や校長との意見交換を行っての御意見・御感想を伺います。その後、教科用図書を調査研究に取り組んでの意見、最後に採択案をまとめるに当たっての御意見を伺うという流れで進めてまいります。まず、事務局の説明に対する御

質問から伺います。御質問はありますか。

石川委員 県立特別支援学校では、検定済教科用図書はどのくらいの割合で生徒は使用しているのでしょうか。また、障害種別によって使用の割合の違いはあるのでしょうか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 通常の学校に準ずる教育課程で学習をしている学校は県内に14校あり、その中でも高等部を設置しているのは、12校になります。令和3年5月1日付の調査で、高等学校に準ずる教育課程で検定済教科用図書を使用している高等部の生徒は全体で99人います。この人数は、全ての特別支援学校に在籍する高等部の生徒数の約3パーセントになります。また、障害種別の割合ですが、聴覚障害は70パーセント弱、視覚障害は50パーセント弱、肢体不自由は約10パーセントの生徒が検定済教科用図書を使用しています。

伊倉教育長職務代理者 障害のある児童生徒が使用する教科用図書として、共通して特に大切にしている観点はどのようなもののでしょうか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 写真やイラスト等を使用して子供たちにとって分かりやすい教科用図書であるというのは、共通して大事な観点です。例えば、視覚障害の生徒は、見えにくさを補うことは大事です。また、教科書全体が扱いやすいことも共通して大事な観点です。

坂東委員 障害の種類も様々で特に手足に障害がある肢体不自由の児童生徒にとっては、どのような観点が大切でしょうか。また、入退院を繰り返している病気がちな生徒たちにとっては、どのような観点が大切でしょうか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 肢体不自由の場合、上肢や手指を自由に動かすことが困難です。そういった中で、扱いやすい、あるいは単元が見開きで一つにまとまっているなども重要な観点です。また病弱の特別支援学校の生徒は、入退院を繰り返すことにより、学習の空白が生じやすく、生活経験が不足しがちという実態もあります。そのため各単元の要点が分かりやすく示してあることも重要な観点です。

遠藤委員 けやき特別支援学校の生徒は、入院退院を繰り返すことにより、学習

の空白が生じやすいですが、病弱の特別支援学校の生徒にどのような配慮がされていますでしょうか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 学習空白や生活経験のなさをどのように補うのかは、重要な観点です。また生徒たちが病気により学習の意欲が低下したときに対して、教員の声掛けにより生徒のやる気を喚起させることも重要だと考えます。

高田教育長 ほかに御質問はありますか。

(発言なし)

高田教育長 次に教育委員の皆様には、学校訪問をし、校長と意見交換会を行っていただきました。それらを踏まえての御意見や御感想をお願いします。

伊倉教育長職務代理者 私は越谷西特別支援学校松伏分校を訪問しました。訪問時は、国語の授業を行っており、使用していた一般図書の「くらしに役立つ国語」というタイトルに惹かれました。後ほど、校長先生に聞いたところ、他の科目でも「くらしに役立つ」というタイトルがついているものを使用しているとのことでした。授業では、生徒たちが、職場に電話で遅刻の連絡をすることを、教科書を使用して練習していました。生徒が卒業後の社会の中でより暮らしやすくするための教科用図書であると感じ、実践的な学習に重点を置いている点に、埼玉県の特例支援の学びは良いと思いました。

石川委員 学校訪問する中で特に印象に残ったのが東松山特別支援学校嵐山学園分校です。家庭での問題を抱えている子供たちが施設で暮らしながら、同じ敷地内の学校に通っています。実際に行ってみると、施設と学校が同じ敷地内で距離も数10メートルでした。そういった面で見ると、小さい子供にとっては、通学は、基礎体力が付く必要な場面だなと思いました。グラウンドもほとんどなく、基礎体力を付けるために、体育の授業でマット運動を行うなどをしていました。施設面を理解した上で先生方も何とかして基礎体力を付けようとしていました。引き続き、施設面の不十分さを現場の知恵で補ってもらえれば、子供たちにとってもより良い学校生活になるのではないかと感じました。

遠藤委員 私も東松山特別支援学校嵐山学園分校を訪問しましたが、生徒は基本

的には施設内で暮らすため、必要な体験ができないときがあります。また、特別支援学校卒業後、今後の生活をどのようにしていくのか、今後を考える上で私たちがどのようなことができるのか、それを一般の社会とどのように共有していくかが必要であると思いました。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 東松山特別支援学校嵐山学園分校の生徒の生活経験の不足は、現在、ICT化が急激に進んでおり、実際にその場に行かなくてもバーチャルな体験ができ、そういったことを積極的に授業に取り入れて工夫をしております。また、高等部を卒業した後の社会との関わりですが、特別支援学校のコミュニティスクールなどで地域との関わりを増やしており、特別支援学校の生徒たちを地域の方々に知ってもらうための取組は、各学校でも進めている状況です。

遠藤委員 特別支援学校でもアクティブ・ラーニングを更に取り入れつつありますが、アクティブの意味は二つあり、彼ら自身がアクティブになることと、もう一つ社会の中で生きること、二つのアクティブで生きていかななくてはならないと思います。そういった意味で使用する教科用図書を選択する際にも重要な視点であると思います。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 委員お話のとおり、そういったことを踏まえ、授業の中で使用する教科用図書は重要な役割を果たすと思いますので、そういった観点も踏まえて、各学校は調査研究に取り組んでおります。

高田教育長 GIGAスクール構想の実現により、義務教育段階では1人1台の端末が整備され、また特別支援学校の高等部でも1人1台の端末が整いつつあります。今までの学習とは、異なる状況になっていますが、特に障害のある生徒にとっては、タブレットなどのICT機器を使用することで学びが進み、個別最適な学びが実現しつつあると学校訪問や校長との意見交換を通じて感じました。教科指導の観点で環境が整ったことにより大幅に前進したことはありますか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 学習指導要領の改訂により教科用図書の内容が主体的な学びを進める内容になっており、QRコードが入っていたり、

友達と語り合えるような場面を設定したりしています。こういったことに関しては、大切にしていきたいと考えております。

高田教育長 先ほど病弱の特別支援学校の話がありましたが、けやき特別支援学校の生徒は入院をしていますので校外に出られません。それを補うためにロボットを通じて遠隔で体験をしていると思います。そのことについて教えてもらえますか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 機械を移動させることによって自分で見ているような場面を設定することができます。生活経験の不足と学習期間の空白を埋めている取組を行っており、ICT化により学びの方法が変わり、選択肢は広がっていると思います。

遠藤委員 特別支援学校の若い教員とお会いする機会がありましたが、学校内で生徒のことを一番知っているのは先生方ですので、教科用図書の選定に当たり、情報を提供できる必要な研究会など積極的にやっていただければと思います。

高田教育長 そのほか、学校訪問及び意見交換会を通じての御意見はありますか。
(発言なし)

高田教育長 次に、特別支援学校で使用する教科用図書等は多岐にわたりますが、教科用図書の調査研究に取り組んでの御意見等をお願いします。

戸所委員 これまでの学校訪問や校長との意見交換を通して、障害の程度や児童生徒の置かれている状況など多様だと思いました。生徒個人ごとにそれぞれ発達状況等が違うなど、それに適した教科用図書を選ぶことに先生方が真剣に考えられていると思いました。そのような中で、一人一人の児童生徒の障害やニーズを把握し、あるいは理解しながら、適した教科用図書を使用する必要性を改めて感じました。

高田教育長 点字の本や拡大した教科用図書など特別な仕様の教科用図書がありますが、御覧になっての感想はありますか。

遠藤委員 多くの種類があり大変であると感じました。また、生徒A、Bがいるときに、視力はある機械で測れば同じですが、見え方が違うのではないかと感

じました。先生方もそれを確かめつつ、生徒に適した教科用図書を選ぶことは大変であると思いました。

高田教育長 特別支援学校では小さい頃に読んだ絵本などを教科用図書に使用していますが、遠藤委員のお話のとおり、Aの生徒にはこれがいい、Bの生徒はこれがいいなど、教員は受け持っている一人一人の生徒たちの顔を浮かべながら教科用図書を選定しています。児童生徒の学年が上がることにより能力も高まり、障害の程度も変わります。そういったことを踏まえながら、教科用図書の選定作業をしています。そのため、教科用図書の選定はこれだけ数が多くなっています。

高田教育長 そのほか、御意見はありますか。

(発言なし)

高田教育長 それでは、採択案をまとめていきたいと思いますが、採択案をまとめるに当たって、何か御意見はありますか。

石川委員 学校訪問や校長との意見交換会を通じて、「一人一人生徒の顔を思い浮かべながら、教科用図書を選んでいる。」ということを多くの先生方が話をされていました。やはり、先生方が選び更に学校も使用したいと選んだ教科用図書が適していると思いました。

坂東委員 通常の児童生徒よりは保護者と教科用図書の使用について、綿密にやり取りをしていると思いますが、保護者や御家族とのやり取りはあったのでしょうか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 特別支援学校では、児童生徒一人一人に応じた個別の指導計画を策定して、保護者との面談を早い段階から始めています。そのなかで障害を改善、克服するために、こういった観点で教科用図書を使用する旨の説明はしております。

坂東委員 そうすると保護者も一緒に教科用図書を読んでいるということでしょうか。

竹井県立学校部参事兼特別支援教育課長 そのとおりです。

伊倉教育長職務代理者 学校訪問をし、校長との意見交換を通して、各学校にお

いて調査研究がしっかりと行われていることが確認できました。一人一人の児童生徒の障害特性に合った扱いやすい教科用図書が示されていることから、各学校からの検討結果を尊重して採択案をまとめていけたら良いのではないかと思いました。

高田教育長 そのほか、御意見はありますか。

(発言なし)

高田教育長 伊倉教育長職務代理者のお話のとおり、各学校の調査研究が児童生徒の一人一人の特性を踏まえながら組織的にされていると認められるとの御意見もいただきました。また、障害の程度や児童生徒の置かれている状況など各学校現場の状況は様々であり、児童生徒一人一人の障害特性や教育的ニーズに応じた教科用図書を選定する必要があるのではないかと御意見をいただきました。そうしたことから、本日の資料で示されている各学校が校長の責任の下で選定した、児童生徒の一人一人に適した教科用図書の選定案が学校から示されていますのでそれを基に採択案まとめることでいかがでしょうか。

○ 全出席委員同意

高田教育長 また、中学校に準ずる教育課程で使用する中学校用文部科学省検定済教科用図書 社会（歴史的分野）については、各学校から昨年度採択した教科用図書を継続して使用したい旨の声が上がっていますので、それを踏まえて昨年度採択したものを令和6年度まで使用することとしてよろしいでしょうか。

○ 全出席委員同意

高田教育長 それでは、中学校に準ずる教育課程で使用する中学校用文部科学省検定済教科用図書 社会（歴史的分野）については、昨年度採択したものを継続して使用することとします。また、高等学校に準ずる教育課程で使用する高等学校用文部科学省検定済教科用図書及び文部科学省著作教科用図書並びに学校教育法附則第9条に定める教科用図書のうち、一般図書等については、資料のとおり教科用図書を採択案とします。次回の教育委員会で事務局から採択案を提案し、採択したいと思います。協議事項イは、ここまでとします。

○ 協議の結果、次回の教育委員会で採択することになった。

(3) 報告事項

県議会令和3年6月定例会概要について

関根財務課長（提出理由、会期、本会議の質問、付託議案、文教委員会における報告事項及び人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会における審査事項について説明）

(4) 次回委員会の開催予定について

8月26日（木）午前10時

<非公開会議結果>

第68号議案 県議会令和3年9月定例会提出予定案件について

県議会令和3年9月定例会提出予定案件の原案を決定しました。